

「ESPEROの会」とは、NECと関連する職場で働く人の有志から構成され、現在の労資協調の労働運動を働く人の権利擁護と要求獲得のために闘う、真の労働組合運動に発展させるため互いに学習し活動する組織です。人間らしく働く職場をめざして、要求の実現と仲間づくりをめざしています。

ESPERO

号外

2001年5月

発行：
ESPEROの会

たよりになる労働組合で

明るく働きがいのある職場をつくりませんか

パソコン事業の別会社化、プリンタ事業の譲渡、
DRAM、汎用LED事業からの撤退など、
従業員犠牲の大リストラ計画で

NECに未来はあるのか？



NECは1999年に1万5千人の人員削減策を発表し、構造改革やリストラ合理化を進めてきました。最近ではパソコン事業の別会社化、プリンタ事業の譲渡、DRAM、汎用LED事業の撤退など、社員犠牲の大リストラの計画をしています。そのため、リストラの不安は、他人事ではありません。

また、疑似裁量労働制（Vワーク）や新人事処遇制度の導入で、サービス残業が発生しやすい環境になっています。

「ESPEROの会」は、サービス残業問題について、労基署や厚生労働省への直接交渉に参加しました。4月6日、厚生労働省は、サービス残業をなくすための通達を出しました。当事者の直接交渉が画期的通達を出させた大きな力になりました。

私たちの要求

1、法律違反のサービス残業の根絶！

働いた分の残業手当は100%支給を。会社はその為に勤務時間管理の把握を。

2、安易な不採算部門の整理、解散には反対！

経営ミスを労働者に転化するようなことはやめ、もっと労働者1人1人を大切に。

3、社員同士を競わせるだけの成果主義には反対！

「成果主義」を他社に先駆けて導入した富士通では問題が続出。本当にやりがいの持てる制度への改善を。

4、中高年への配慮を！

56歳昇給停止は廃止して、定年まで昇給を。

5、書記業務・アシスタント業務の処遇改善を！

仕事が円滑にまわって行く為には書記業務が大切な役割を果たしてきました。

- ・ B5、6職級の低賃金補正を行、新たな仕事を担う為の指導育成を丁重に。
- ・ 年功序列制度時にも低く押さえられていた中高年女性の賃金補正を。

6、子育てに社会支援を！

- ・ 育児休職者の代替え要員の確保を。
- ・ 育児期間中の一時金の一部カットをやめ全額支給を。
- ・ 育児時間を取っていても不利益にならない評価を。

7、肩こり、目の疲れ、腰痛対策を！

- ・ 休憩室の設置とマッサージ師の各ビルへの配置を。
- ・ 診療所に眼科、耳鼻科の新設を。